

看護師特定行為研修 通信

Vol.1 令和3年10月「研修が開始しました」

高崎総合医療センター 看護師特定行為研修
370-0829 高崎市高松町 36
027-322-5901

看護師特定行為研修委員長 鯉淵 幸生
特定行為研修・通信発行担当 村田 美幸

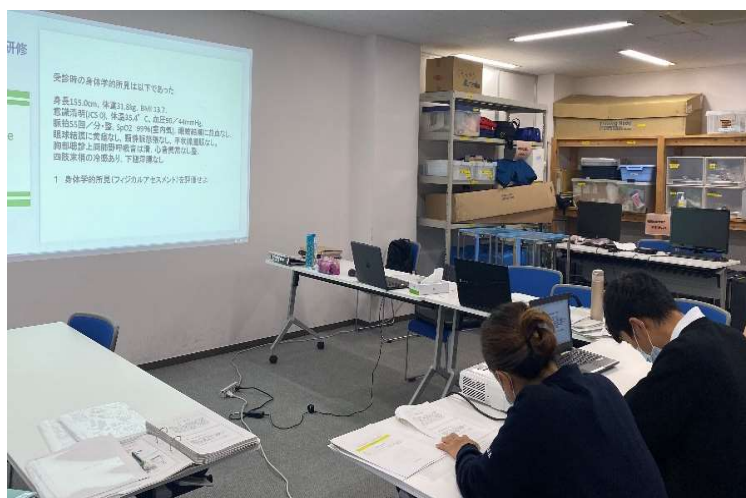
看護師特定行為研修が開講しました！

令和3年10月1日 看護師特定行為研修が開講しました。開講式では、小川哲史院長が、「突出した人になって、看護師の仲間を牽引して下さい！」と激励しました。水江麻紀子看護部長は、「1年間頑張ってください。」とエールを贈りました。記念すべき第1期受講生は、手術室勤務の小井戸妙子副師長、ICU 看護師の成瀬暁生看護師です。ご多忙の中、研修に出向させていただいた手術室看護師長と手術室看護師の皆様、ICU 看護師長と ICU 看護師の皆様にご感謝しています。1年間研修予定ですので、ご指導いただく医師、薬剤師、診療放射線技師、臨床検査技師、臨床工学技士、看護師の皆様宜しくお願い致します。



10月1日 開講式

e-ラーニング研修、共通科目 250 時間 座学と演習をしています！



厚生労働省が定める看護師特定行為研修は、共通科目 250 時間+各区分別科目の履修時間+症例実習（5 例または 10 例程度）が必要です。まずは、共通科目である解剖生理学や臨床推論、フィジカルアセスメントなどの座学と演習を始めています。後半は臨床薬理学や特定行為実践などを学びます。

演習時間は、日々の診療やこれまでの臨床経験を聞ける貴重な時間

記念すべき第1回演習は、臨床病態生理学の神経性食思不振症に合併した肝硬変、食道がん術後の多臓器不全の事例を用いた演習でした。臨床検査科の高山医師より、熱心にご指導いただき、熱いディスカッションができました。

演習終了後、高山医師より「研修医に教えるみたいに、指導すれば良いんだね、1回演習したら、コツがわかったよ！」とお言葉がありました。

指導者側も手探りですが、ご指導宜しくお願いします。



臨床病態生理学 食道がんの事例演習



臨床推論 腎盂腎炎の事例演習

総合診療科で日々の診療事例を提示しながら、臨床推論を指導していただいているのは佐藤内科系診療部長。「無菌性髄膜炎の3徴は?」、「肺塞栓を疑う時、感度の高い検査は何か?」の問いに、しっかり答えていました。

佐藤部長より特定行為研修を修了した看護師に期待すること

* 問診や身体所見、生活歴を聴取して欲しい。病棟で予期しない発熱などに対応する時には、医師と相談して血液培養なども提案してもらいたい。

当院では9区分の特定行為研修でスタート

挿管チューブの位置変更や人工呼吸器設定変更、IABPやPCPSの調節、PICC挿入や胸腔ドレーン抜去、Aライン確保など、急性期病院で学べる環境を活かせる研修としました。1年間、ご指導宜しくお願いします。